

2026年3月期 第2四半期（中間期） 連結決算概要

2025年11月10日

日本リーテック株式会社
(証券コード：1938)

連結業績サマリー



■業績要旨

- ・ 前年同期比、**増収増益決算**
- ・ 中間期における**売上高、営業利益は過去最高**

■主な要因（対前年同期比）

- ・ 受注高は、336億円と**対前年同期比27億円の増加**となった。
国土強靱化やインフラ更新をはじめとした建設投資が底堅く、当社グループにおいても主要顧客を中心に設備投資が堅調に推移している。屋内外電気設備部門で前年度に受注した国際展示場電気設備改修工事等の反動減があったものの、道路設備部門と送電線設備部門において大型プロジェクト工事の受注を確保したことで対前年同期比で増加となった。
- ・ 売上高は、286億円と**対前年同期比16億円の増加**となった。
豊富な繰越工事に加え、今年度も受注が堅調に推移し、各本部とも維持・更新工事や大型プロジェクト工事が順調に進捗・完成したことから対前年同期比で増加となった。屋内外電気設備部門の品川開発プロジェクト工事や送電線設備部門の地域間連系線増強工事をはじめ各部門とも高水準の売上高を計上した。
- ・ 営業利益は、14億円と**対前年同期比6億円の増加**となった。
資材価格の高止まりや人件費の上昇など建設コストの高騰が続いているが、売上高の伸長に加え、継続的な価格交渉や生産性の向上、コスト低減等に注力した結果、対前年同期比で増加となった。
- ・ 親会社株主に帰属する中間純利益は、10億円と**対前年同期比2億円の増加**となった。

連結損益計算書



(単位：億円)

	2025年3月期 中間実績	2026年3月期 中間実績	増減	2026年3月期 通期予想
受注高	308	336	+ 27	—
売上高	269	286 過去最高	+ 16	723
営業利益	7 2.9%	14 過去最高 5.2%	+ 6	53 7.4%
経常利益	11 4.1%	17 6.1%	+ 6	60 8.3%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	7 2.9%	10 3.7%	+ 2	42 5.8%

※ 公表値は、決算短信で公表している通期の予想値となります。

※ 記載されている割合は、利益率を表しております。

※ 各数値は表示単位未満を切り捨てて表示し、比率は単位未満を四捨五入しております。（以降同様）

連結貸借対照表



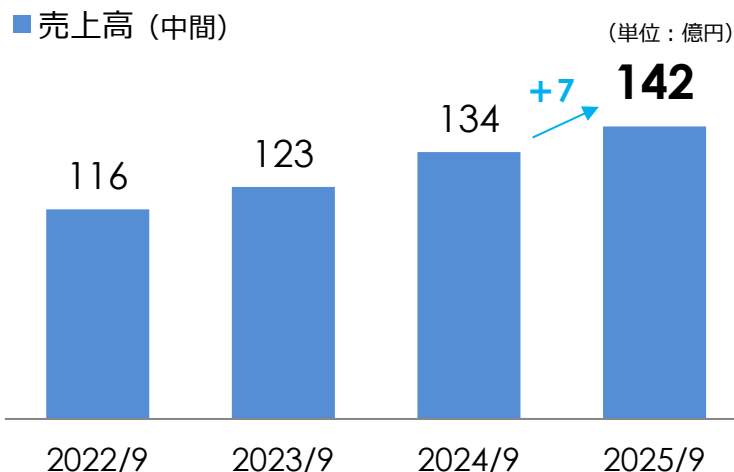
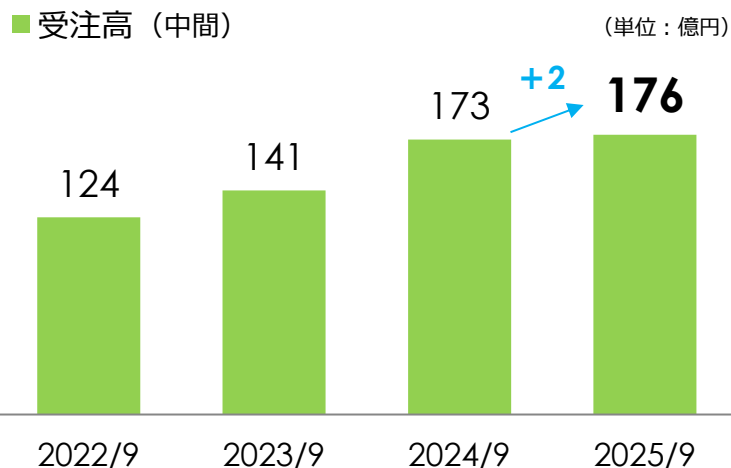
(単位：億円)

	24/09 中間 実績	25/09 中間 実績	増減
流動資産	518	591	+73
固定資産	381	399	+18
資産合計	899	991	+92
流動負債	231	286	+54
固定負債	74	68	▲5
負債合計	305	355	+49
純資産合計	593	636	+43
負債純資産合計	899	991	+92
自己資本比率	66.0%	64.2%	▲1.8P

※自己資本比率 = (純資産-非支配株主持分) / 総資産

■ 主要要因（対前年同期比）

- ・流動資産は、売上高の増加に伴い受取手形・完成工事未収入金等が増加したこと等により、対前年同期比73億円の増加となった。
- ・流動負債は、短期借入金や工事未払金の増加等により、対前年同期比54億円の増加となった。
- ・自己資本比率は、64.2%と対前年同期比1.8P低下した。



主なポイント

- 受注高については、176億円と対前年同期比2億円の増加となった。東北新幹線那須塩原・福島間耐震補強や幕張車両センター信号設備改良など、JR東日本の安全投資や維持・更新工事等で受注を確保した。
- 売上高については、142億円と対前年同期比7億円の増加となった。新幹線電車線路設備改良や乗降確認モニタ用通信設備新設など施工が順調に進捗・完成し、売上高の増加に寄与した。

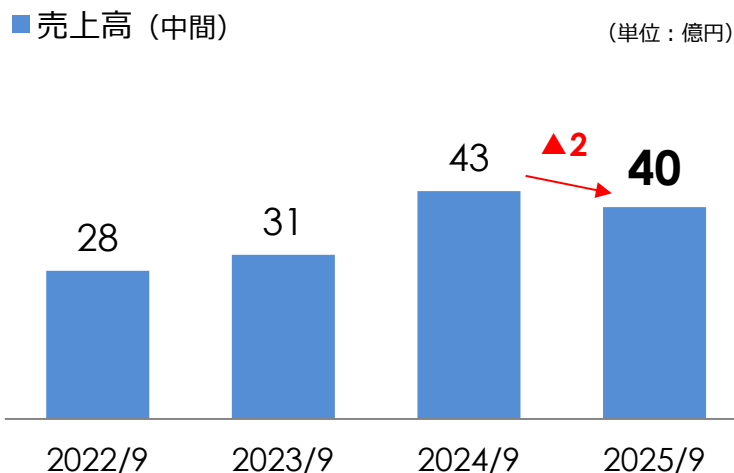
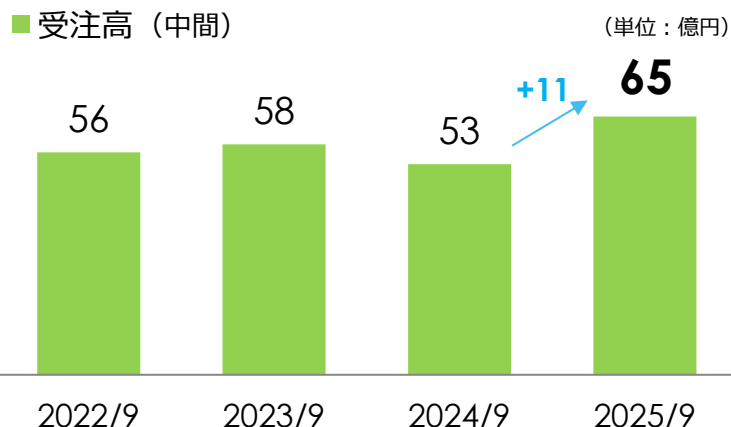
主な施工実績 (進捗中案件含む)



乗降確認モニタ用通信設備新設 (千葉県)



浜松町駅南口自由通路配電設備新設 (東京都)



主なポイント

- 受注高については、65億円と対前年同期比11億円の増加となった。都道府県警察の交通信号機工事や高速道路設備の維持・更新工事に加え、首都高速道路の新大宮上尾道路延伸に伴う大型プロジェクトを受注したことで、受注高が伸長した。
- 売上高については、40億円と対前年同期比2億円の減少となったが、概ね前年と同水準を維持している。

主な施工実績（進捗中案件含む）



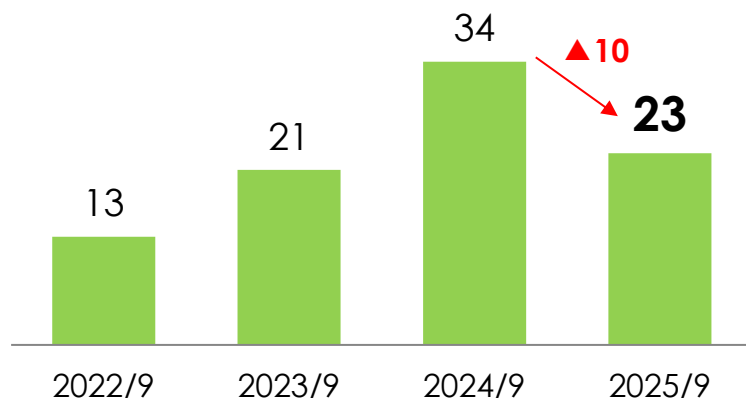
東京都23区内交通信号機応急業務
（東京都）



名神高速道路照明設備更新
（京都府）

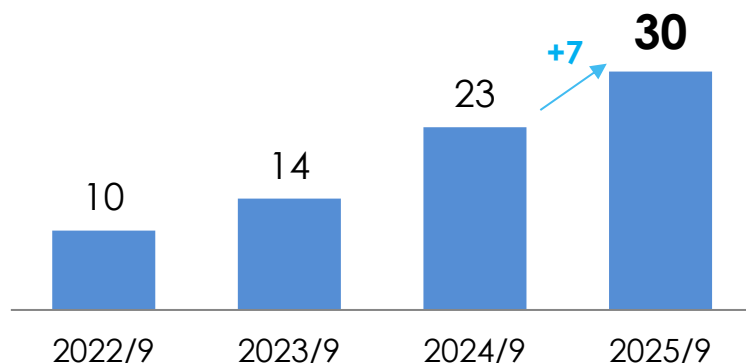
■ 受注高（中間）

（単位：億円）



■ 売上高（中間）

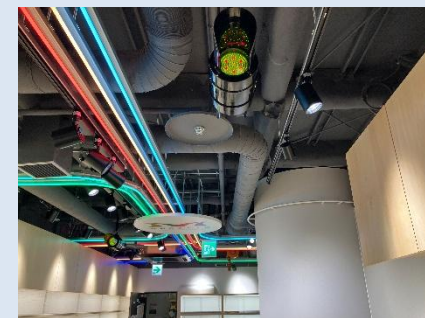
（単位：億円）



主なポイント

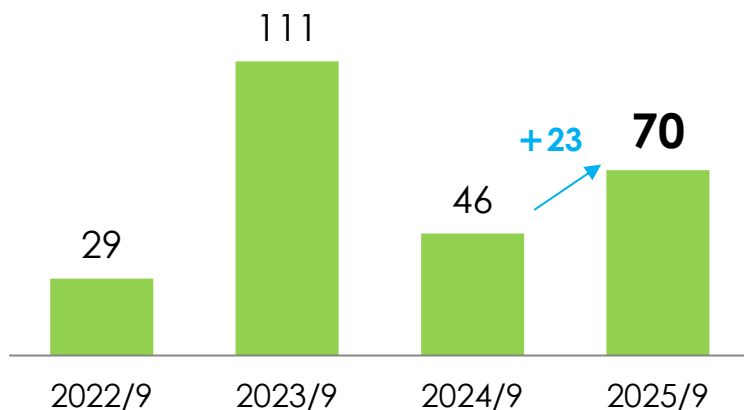
- 受注高については、23億円と対前年同期比10億円の減少となった。国立代々木競技場電気設備改修やJR東日本管内の電気設備改良等の受注を確保したが、前年度に国際展示場電気設備改修工事等を受注したことにより反動減となった。
- 売上高については、30億円と対前年同期比7億円の増加となった。品川開発プロジェクトなど大型工事の進捗が売上高の増加に寄与した。

主な施工実績（進捗中案件含む）

高輪ゲートウェイシティ再開発
電気設備設置（東京都）ENERAL STORE RAILYARD大宮店
電気設備改修（埼玉県）

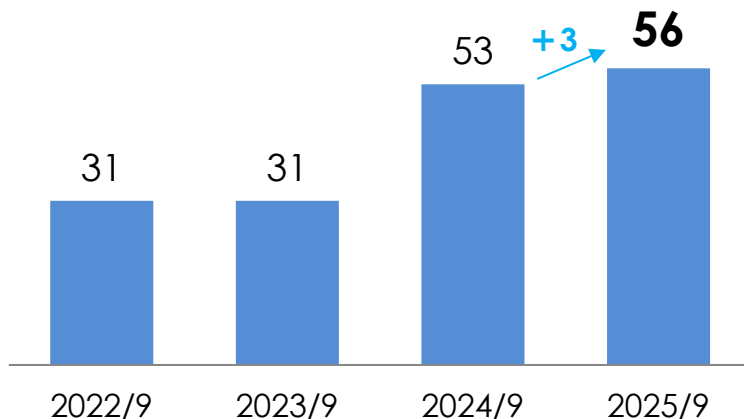
■ 受注高 (中間)

(単位: 億円)



■ 売上高 (中間)

(単位: 億円)



主なポイント

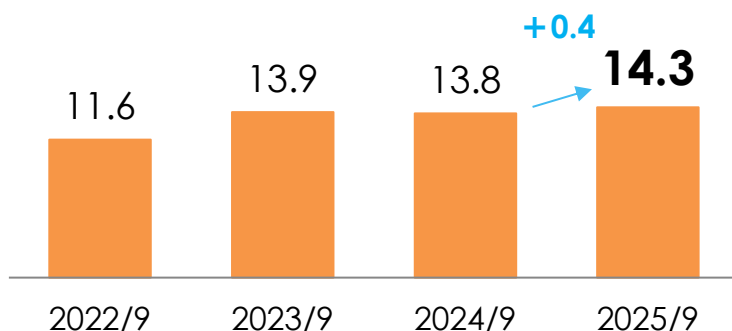
- 受注高については、70億円と対前年同期比23億円の増加となった。地域間連系線増強工事や電線張替工事など複数の大型プロジェクトにより受注が伸長した。
- 売上高については、56億円と対前年同期比3億円の増加となった。地域間連系線増強工事が順調に進捗しているほか、各地区における鉄塔建替やリニア新幹線への電力供給工事の進捗が売上に寄与した。

主な施工実績 (進捗中案件含む)

廿日市八幡線電線張替
(広島県)佐久間東西幹線増強
(山梨県)

兼業事業

■ 売上高（中間） (単位：億円)



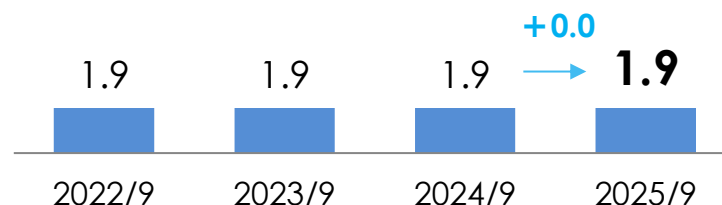
■ 売上高は14.3億円と対前年同期0.4億円増加となった。

<兼業事業の内容>

- ・ 交通施設に関する標識及び交通安全用品の製造・販売業務
- ・ 建物・関連設備の保守管理業務、機械装置・仮設材関係の保守管理業務

不動産賃貸事業

■ 売上高（中間） (単位：億円)



大崎ブライトタワー
(区分所有)



NRグランディール万代
(個人向け賃貸物件)



2026年3月期 連結業績予想

連結業績予想サマリー



2026年3月期決算は **“増収・営業増益(当期純利益は減益)”**を見込む

■ 業績予想要旨

- ・ 緩やかな景気の回復基調を背景に、所得から支出への前向きな循環や企業収益の改善が進むことで、より一層の経済成長が期待される。
- ・ 長引く地政学的リスクや海外経済の減速傾向、サプライチェーンの混乱による物価高騰など、経済活動に影響を及ぼす不確実性が増しており、依然として先行きの不透明感は続くものと想定される。
- ・ 前期繰越工事高は豊富であり、回復基調にある受注環境を背景に、各部門とも工事は順調な推移が見込まれ、売上高は前期比36億円の増加を見込む。
- ・ 原材料価格の高騰や人件費の増加等の影響により、利益率は厳しい状況が続くと想定されるが、売上高の増収効果に加えて顧客との価格協議やコスト削減に努め、営業利益・経常利益はともに前期比若干の増加を見込む。
- ・ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期に計上した政策保有株式の売却益が剥落するため、前期比5億円の減少を見込む。

連結業績予想数値



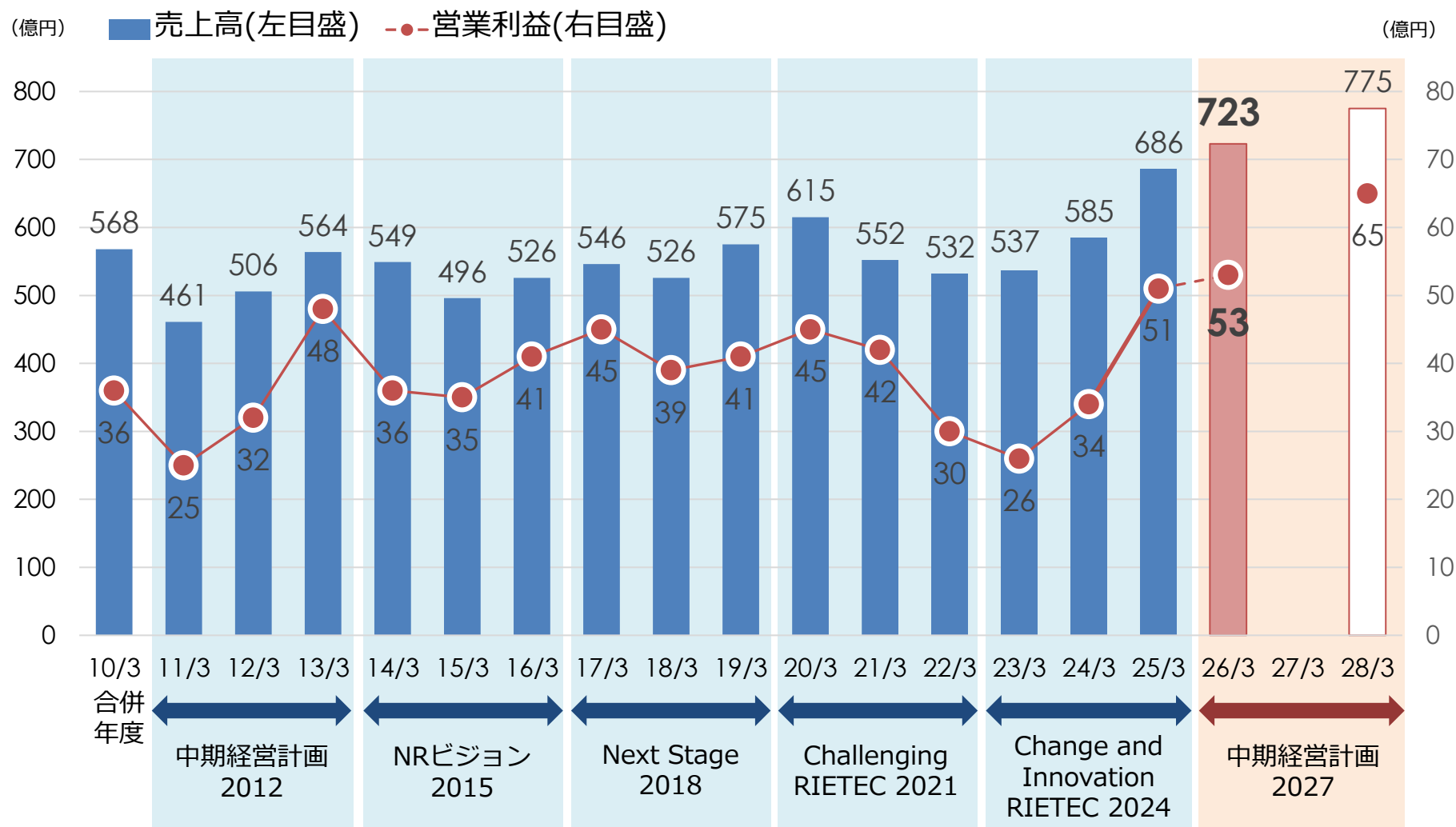
(単位：億円)

	2025年3月期 (実績)		2026年3月期 (予想)		前期比
売上高	686		723		+36
営業利益	51	7.6%	53	7.4%	+1
経常利益	59	8.7%	60	8.3%	+0
親会社株主に帰属する 当期純利益	47	6.9%	42	5.8%	▲5

※ 記載されている割合は、利益率を表しております。

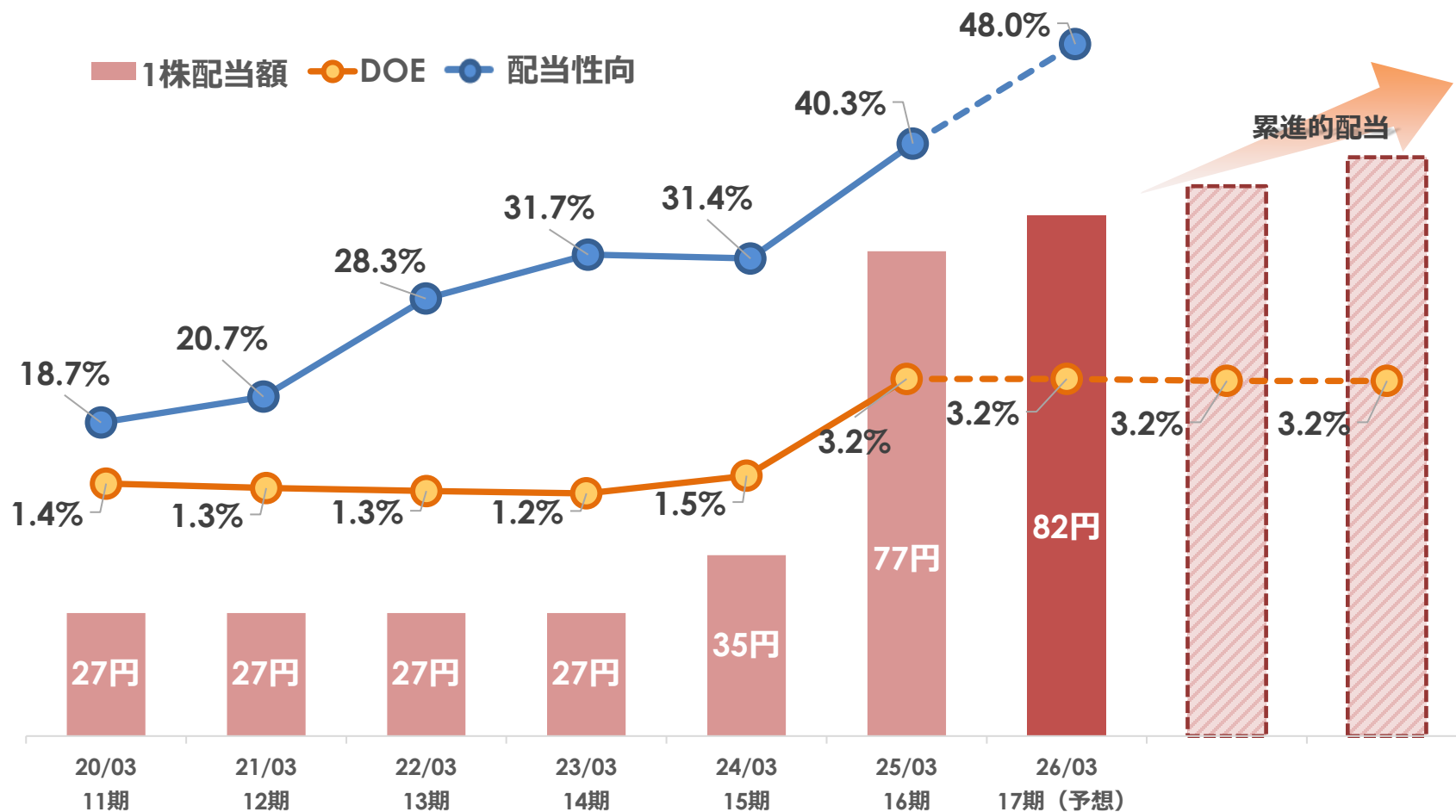
※ 各数値は表示単位未満を切り捨てて表示し、比率は単位未満を四捨五入しております。

売上高及び営業利益の推移



配当方針及び配当状況の推移

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置付けており、安定的な配当の継続と機動的な自己株式の取得を通じて、株主の皆様への利益還元の拡充と資本効率の向上を目指しております。株主還元については、短期的な業績に左右されない安定的、かつ累進的な配当を実現すべく、**DOE3.2%**を目安として決定してまいります。



本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、日本リーテックグループが現時点で入手可能な情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

なお、異なる結果となった場合でも当社は本資料を改定する義務を負いかねますので、ご了承ください。

(お問い合わせ先)

日本リーテック株式会社
経営企画室 広報・IR課

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-6
T E L : 03-6880-2714
F A X : 03-6880-2750
H P : <https://www.j-rietec.co.jp/>